

にいがた労福協

<ライフサポートセンター>

No29 2017年 4月 28日 発行
一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
e-mail:ni-rfk@bz04.plala.or.jp
URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>
発行責任者 山田 太郎

ワーク&ライフセミナーin長岡

ど、約290名が参加されました。前半は佐竹直子氏（NPO法人多世代交流館に代表）をコーディネーターとして、新沢としひこ（シンガーソングライター）さんと『阿賀に生きる』『風の波紋』など、地元長岡市出身の福祉をテーマとした



（土）、「ワーク&ライフセミナーin長岡」がホテルニューオータニ・NCホールにて開催され、長岡地区労福協の関係者や一般参加者など、約290名が参加されました。前半は佐竹直子氏（NPO法人多世代交流館に代表）をコーディネーターとして、新沢としひこ（シンガーソングライター）さんと『阿賀に生きる』『風の波紋』など、地元長岡市出身の福祉をテーマとした



映画監督、小林茂氏との軽快なトークから始まりました。後半は、昨年に続き、「新沢としひこ」ライブで熱狂的なファンも交えて盛り上がりしました。

終了後、会場を長岡グランドホテルに移し、本年9月に開催予定されている「2017ワーク&ライフフォーラムin長岡」の実行委員会結成準備委員会が開催され、約150名が参加しました。

矢島長岡地区労福協会長の主催挨拶に続き、新潟県労福協山田専務理事より、フォーラムの趣旨と、この4年間の実績について説明がありました。



乾杯の後は、地元のNPOや市民活動団体の代表から活動内容の紹介が行われ、秋に開催されるフォーラムの成功をめざした前夜祭となりました。

ワーク&ライフ セミナーin上越

2月25日（土）、ワーク&ライフセミナーin上越がホテルハイマートにて開催され、35歳以下の若者を中心に80名が参加しました。第1部基調講演では、「世



界一高い山から見たもの」をテーマに伊藤氏（東京経済大学経営学部学生）を講師に迎え、中学生や高校生時代に世界的に名高い山岳を制覇した体験や20歳の時に世界最高峰エベレストをめざし日本人最年少（3日後に19歳の日本人女性に記録を抜かれる）として登頂に成功するまでの過程と山頂から見たもの、今後の展望などについて講演していただきました。

第2セッションは、ろうきん直江津支店長による、DVD生涯伴侶劇場「未来のお値段」、総合生協上越支局長からは、糸魚川大火から学ばふもの「備えあれば憂いなし」をテーマにそれぞれ貴重な報告がされました。

ワーク&ライフセミナーin新潟 つながろう、つなげよう 自殺のない地域社会をめざして

「つながろう、つなげよう 自殺のない地域社会をめざして」のタイトルで新潟地区労福協主催のワーク&ライフセミナーin新潟が万代シルバーホテルにて開催され、各団体、関係機関、NPO、市民など約100名が参加されました。石本会長の挨拶後、第一部として、「現場から見える自殺対策の現状と課題、連携することの大切さ」をテーマとしたシンポジウムが行われました。

このシンポジウムは、新潟地区労福協が昨年11月に開催した、フォーラム「生き心地のよい地域社会をめざして」の第二弾として開催されたもので、自殺の現状や予防対策として何が必要か、改めて理解を深め日常的な連携の大切さが確認されました。

その後、自殺対策に関わっている各団体から団体紹介と活動内容についてのプレゼンテーションが行われ、交流会も含め地域ネットワークが広がりをみせています。

ワーク&ライフセミナー・フォーラムは、スタートから4年が過ぎました。ろうきん福祉財団の新規事業とこれまで労福協の



実施してきたセミナーを合体して新たな事業として展開してきました。地域4ブロックを一巡し、スタート期から育成期に移行します。事業目的である県民の暮らしに役立つ、地域に顔の見える事業へ、行政をはじめNPOや市民活動団体との協働により、安心と共生の地域づくりをめざし活動を進めます。



環太平洋連携協定(TPP)や貿易体制をテーマにしたフォーラムが2月4日(土)、新潟市秋葉区文化会館で開催されました。このフォーラムは、連合新潟などが参加する県食と環境ネットワークの設立10周年に合わせて企画され、約350名が参加しました。

パネラーには、米山隆一氏(新潟県知事)、高島修一氏(衆議院議員・自民党)、鷲尾英一郎氏(衆議院議員・民進党)の三方、コーディネーターに齋

藤敏明氏(連合新潟会長)によるディスカッションとなりました。

いま、TPPをめぐる国内外に様々な議論が展開されていますが、本フォーラムは、その賛否を問うものではなく、私たちの生活に及ぼす影響などを考えてみる機会として企画されています。

ディスカッションの議論では、「中小企業などはTPP加盟によりメリットがある」、「トランプ米大統領はTPPからの離脱を宣言。グローバルズムを提唱していた米国自身が自由貿易に疲れたのではないか」、「TPPがなくなると安心という人もいるだろうが、逆だ。米国はさらに高い条件を求めるだろう」、「賃金アップで国内の市場規模を大きくし、影響を少なくさせること。」など、それぞれ立場の違いもあり、白熱した討論が展開されました。

労働者福祉に関わる要請

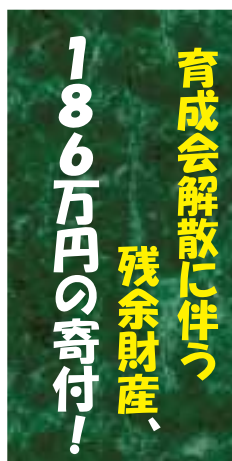
米山知事へ要請行動

1月27日(金)、県労福協は、米山県知事を訪問し、2017年度の労働者福祉に関する要請書を提出しました。

要請内容は、①東日本大震災の被災者・避難者支援、②奨学金問題の改善に向けて、③格差・貧困の是正、セーフティネットの強化、④勤労者の雇用維持、離職対策、⑤フードバンク活動の促進等、5項目について要請しました。

重点的には、子どもの貧困対策を含む生活困窮者自立支援事業の出口として重要な就労問題について、経営団体や農林、漁業関係団体へ受け皿として、理解と協力をいただけるよう県の立場から

育成会は、1975年の創設以来、県内各地域で勤労者福祉の前進に向けて様々な活動を行ってきましたが、昨今の財政事情や会員の会費負担の問題などに鑑み、本年3月末日をもって組織解散しました。



米山知事からは、生活困窮者自立支援事業の出口である就労については、労働力を必要としている地域もあり、ミスマッチもあるのではないかと。関係団体も含め検討していきたい。

また、フードバンク、子ども食堂については、公報活動の強化や支援団体に対する支援も検討していきたいと回答されています。



検討してもらうこと。

また、フードバンク関連では昨今、子ども食堂の急速な広がりを見せているが県としてのどのような支援ができるか検討してほしいと要請しました。

これまで育成会には、労福協の主力事業であるライフサポートセンターの立ち上げ当時から長年にわたり財政面での支援をいただき、この間の労福協運動(ライフサポート事業)の前進と発展に多大な協力をいただきました。

4月7日(金)、育成会の解散・整理に伴う残余財産(186万円)が育成会清算人代表の渡辺章衛会長から齋藤敏明理事長に寄付金として手渡しされました。

勤労者を取りまく情勢は、格差と貧困の拡大により、ますます厳しさを増しています。労福協運動が地域で果たす役割や期待も時代の推移とともに大きくなっています。

今回、いただいた寄付金については、育成会の事業目的である県内勤労者とその家族の暮らしに役立つ活動や地域交流事業等、ライフサポート事業を軸に地域の労福協運動や組織のさらなる前進を目的に有効活用させていただきますこととされています。



総合生協グループ虹の会 2017年新春の集い

総合生協グループ虹の会の「2017年新春の集い」が2月2日(木)、ホテルイタリア軒で開催され、約240名が参加しました。

樋口会長の主催者挨拶、小野塚総合生協理事長あいさつに続き、新たに虹の会役員体制が選出されました。

恒例の講演

会には、『地産地消と日本型食生活のすすめ』をテーマに、タレントとして



桃美代子(タレント)氏を講師に迎え、食育や農業問題など、自らの農作業体験も含め講演されました。

第二部は、豪華景品のあたる抽選会を含めた交流会が盛大に開催され、参加された企業・団体間の連携も深まり新春の集いにつながる会となりました。

夢咲Clubの案内

夢咲Clubは労金に加入していない勤労者の方々が、労金を利用する際に加入いただくメンバーズクラブです。

預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用ができます。

- <ご加入資格> 県内に居住または勤務する勤労者等
- <ご入会手続き> 最寄りの労金本支店で手続きできます。



労金関係業務(育成会・夢咲Club)運営事務局 勤労福祉会館内

連絡先 Tel 025(281)1188

E-mail: yumesaki@n-yume.jp

国際労働財団(JILAF・ジラフ)訪問と視察の受け入れ交流

4月7日(金)、国際労働財団の招聘チームの責任者3名と中央労協役員2名で構成された視察団が新潟県労協を訪問し、パーソナル・サポートセンター、フードバンクにいがた、にいがたライフサポートセンターを訪問し、各団体の責任者から事業内容についての説明や意見交換等が行われました。

ジラフの視察目的は、来期からのアジア各国の招聘チームのプログラムに地方労協への訪問活動を組み入れる企画を予定しており、その準備段階として地方労協の活動内容を事前把握することとを目的に訪問されました。その手始めに中央労協を通じて、新潟県労協へ訪問・



視察の受け入れ要請がありました。視察前に新潟県労協の活動全体について概略の説明を受けた後、視察要望のあった前述の3団体へ訪問されました。初めて見たたり聞いたりする現場の活動に熱心に聞き入り、関心深く質問等をされていました。

グローバルな市場経済の拡大のもとで、開発途上国経済は発展を遂げつつあるものの、勤労者の経済格差の拡大・二極化が大きな問題となっています。

そこには日本社会の格差と貧困問題とも重なる課題が多々あり、労働運動の役割はますます重要になっています。今回の訪問・視察が今後のジラフの事業と活動の一助になることを期待します。

国際労働財団(ジラフ・JILAF)は、1989年、連合によって設立されたNGO(非政府組織)でありNPO(非営利団体)。アジア諸国をはじめ、海外の労働組合関係者を日本に招き、相互理解を促進している。

また、開発途上国の労働団体に研修の機会を提供し、現地で「教育活動」「社会開発活動」に協力することにより、民主的かつ自主的な労働運動と労使関係の発展に助力し、それによって途上国の健全な経済社会開発に貢献することを事業目的としている。

第3回地方労福協会議

3月9日(木)、第3回地方労福協会議が如水会館(東京)で開催され全国都道府県の代表者が一同に結集し開催されました。当日は、これまで取り組んできた給付

型奨学金制度の創設をめざした法案が国会に上程され議論されるというタイムリーな日程とも重なりました。

1日目の会議は、奨学金問題に関するこれまでにの取り組みと各地方ブロック労協の活動報告がされ、その後、日弁連・消費者問題

対策委員会／弁護士・国府泰道氏から、「悪質商法と増加する高齢者被害の実態と対策について」をテーマとした講演がありました。

2日目は、中央労福協の2017年度活動計画について意思統一をはかりました。重点課題として、①生活底上げ・勤労者福祉強化キャンペーン、②奨学金問題に関する取り組み(国会活動)、③生活困窮者自立支援、ライフサポート活動、利用促進・共助拡大等、確認しています。

その後、奨学金問題対策全国会議・共同代表／中京大学教授・大内裕和氏より3年余になる奨学金問題の取り組みの成果・評価と課題やこれからの展望について講演を受けました。この問題は、学生の生活困窮の問題にとどまらず、「結婚できない」「出産できない」「子育てで



きない」という、少子化問題、人口減少社会にストップをかけ、日本社会の将来を切り開く問題であるということを改めて肝に銘じ取り組みを進めていくことを確認しました。

『変えよう日本 つくろう未来』
消費者の選択、
行動、協同で！

2017消費者運動第55回全国消費者大会が3月10日(金)・11日(土)、四谷(東京)主婦会館プラザエフで開催され、前述の地方労福協会議の延長として労福協関係者が参加されました。

分科会は、「消費者政策」「環境」「食」「社会保障」「子育て・教育」に分かれており、労福協関係者は、「子育て・教育」分科会の「奨学金地獄! (変えよう、貧困に陥る若者とその家族の未来を) 講師…大内裕和氏」に参加し、奨学金制度問題パートIIの学習会として参加しました。



県央地区ライフプランセミナー

認知症の基礎知識と予防のヒント』音楽で脳を活性化！

3月1日(水)に県央地区労福協2016年度ライフプランセミナーがソレイユ三条で開催されました。事前に2回地元新聞に掲載されたこともあり、一般の希望者を含め85名が参加しました。

中央労福協の幹旋する日本音楽レ・クリエーション指導協会理事長・堀口直子氏を講師に迎え、『認知症の基礎知識と認知症予防のヒント』音楽で脳を活性化』をテーマに参加者を誰1人居眠りさせないユニークな集中した講演が繰り広げられました。

「人は必ず認知症になる、早いか遅いか、なる前に亡くなるかのいずれかである。しかし、防ぐこと、遅らせることは出来る。その



予防策は、運動、地域活動、コミュニケーション、カラオケ、生活習慣の見直しなどである。とにかく音楽と脳トレと体操を同時に行うとかなりの認知症予防になる」ということです。

参加者からは、「非常に良かった」「ためになった」「家に帰って話題にしたい」「音楽の持つ力ってスゴイ!」「認知症の進行は早い段階でストップが大事」などの声も頂きました。

講演の最後は、誰でもできる認知症予防の脳トレ実践として、うまく動かない手足指を動かしながら生活に役立つライフプランセミナーの楽しい一時を過ごしました。

新潟協同ネット公開学習会

農協解体を協同組合から問う!
協同組合陣は、いま、何をなすべきか!?

3月8日(水)、コープシテイ花園・ガレツホールにおいて、「にいがた協同ネット」主催の公開学習会、『農協解体を協同組合から問う!』協同組合陣は、今、何をなすべきか!』をテーマに問題提起と参加者による意見交換が行われました。

世界的に市場万能主義の弊害が現れています。止むことのないマネー資本主義に対して、協同組合陣営は何をなすべきか、協同組合は未来を切り開けるのか。「国鉄解体」「郵政解体」そして、「農協解体」、この一連の流れの中に何を教訓化していかなければならないか、日本の農協改革はいかにあるべきか。こうした視点から、農政ジャーナリストの会・元JA新潟中央会専務理事・重野徳夫氏を講師に迎え、農協解体攻撃の動向、農協自己改革、協同組合間の連携等について問題提起がされました。その問題提起をもとに参加された各団体・個人から組織の垣根を超え、農協に対する期待やあるべき姿など、活発な議論が出され意義ある学習会となりました。



女性のための
労働相談
ホットライン

～職場のモヤモヤありませんか?～

2017年6月12日(月)～13日(火)

午前10時～午後7時

職場でこんな悩みを抱えて困っていたら...

ひとりで悩んだり、我慢したりせずに、
連合に相談してみませんか?

フリーダイヤル
0120-154-052

秘密厳守

相談無料

携帯スマホOK

※電話をかけた地域の連合の事務所に繋がります。
※上記フリーダイヤルは常設です。
左記期間以外でも相談を受け付けています。



上越パーソナル・サポートセンター 第2回事業連絡会、第4回支援調整会議

生活困窮者自立支援事業が制度化され2年目が間もなく終る2月13日(月)、上越市民プラザにおいて、上越パーソナル・サポートセンターの第2回事業連絡会と第4回支援調整会議が開催され、上越市、弁護士会、民間支援団体等45名が参加しました。

上越市健康福祉課の牛木参事より委託団体としてのご挨拶をいただいた後、事業報告と支援団体からみたPSセンターに対する意見・感想を報告していただきました。今回初めての参加となりましたが、支援企業の代表の方から、支援の成功事例等



を上越市の公報に掲載し、活動の紹介と事業への協力を要請すべきとの貴重なアドバイス等もいただきました。

PSセンターへは、これまで多くの相談者から親切に支えていただいた感謝の声や手紙などをいただいています。その中から何人かの方からビデオレターを通じ感謝の思いが報告されました。

現在、3年ごとの事業の見直し議論が始まっていますが、よりよい制度に向け、支援の現場から政策づくりと意見等、発信していくことが重要です。

新潟県日ロ親善協会 2017新春セミナー

2月28日(火)、万代シルバーホテルにて、日ロ親善協会主催の2017年新春セミナー&総領事との交流会が開催され、日ロ親善協会や総領事館、行政関係者等、52名



が参加されました。第一部は、齋藤副会長の挨拶後、国際親善交流で県庁に勤務されているエフィモア・イカテリーナ(若い女性)さんから「ロシアの歴史と現代文化」をテーマとした講演がありました。

お互い長く交流していても知

らないことが多く、改めて学習する場となりました。

第二部の交流会は、セルゲイ総領事の挨拶をはじめ来賓挨拶、祝電披露の後、盛大な交流会となりました。

新潟ろうきん福祉財団 地域づくり研修会

にいがた旬塾2017

事前申込み
参加無料

地域の編集(プロデュース)術～人がつながる、仲間が増える地域づくり～

県内各地で地域おこしに関わる人々が現場で活かせる知識を得るとともに、活動のすそ野を広げる機会を提供することを目的として今年も開催します。

2017年5月下旬～6月中 県内5会場で開催!

佐渡市・胎内市・見附市・魚沼市・上越市

※開催日時・会場が決定しだい「新潟ろうきん福祉財団」ホームページにてご案内いたします。みなさまの参加をお待ちしております。



一般財団法人 新潟ろうきん福祉財団

URL <http://www.zaidan-hukushi.or.jp>

当面の主な活動予定

- 4月26日(水) 長岡P S 支援調整会議
 27日(木) 消費生活ネットワーク新潟理事会
 27日(木) 新潟市P S 支援調整会議
 5月1日(月) 新潟中央メーデー
 2日(火) 長岡P S 事務所移転
 9日(火) フードバンクにいがた運営委員会
 12日(金) 第30回県労福協チャリティコンペ
 13日(土) 第5回フードバンクにいがた定期総会
 15日(月) 新潟県日親善協会会計監査
 16日(火) 新潟県日韓親善協会理事会
 17日(水) 第3回未来塾運営委員会
 19日(金) 労福協会計監査
 22日(月) 第212回東部ブロック幹事会
 23日(火) " "
 26日(金) 東部ブロックリーダー塾(前期)
 27日(土) " "
 29日(月) 県労福協第113回理事会
 30日(火) 2017年日韓親善協会定期総会
 6月5日(月) 全国研究集会(横浜)
 6日(火) " "
 10日(日) 柏崎地区労福協シンポジウム
 13日(火) フードバンクにいがた運営委員会
 20日(火) 県労福協第37回定時総会

東部ブロック労福協 第211回幹事会 in 焼津

2月20日(月)、東部ブロック労福協第211回幹事会が静岡県焼津グランドホテルで開催されました。昨年、12月に東部ブロック結成50周年記念を記念した行事を終えて最初の幹事会として、これからの50年をめざす事業の意思結集の場でもありました。

具体的には、これからの福祉リーダー塾のあり方、福祉事業団体との連携、ライフサポート事業の経験交流、中央労福協および地方労福協との連携強化等について協議しました。2日目は、静岡県内の地区労福協との意見交換やヤマハピアノの工場見学など交流をはかりました。



労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (2017年2月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高(千円)
無担保ローン	53,294,284
有担保ローン	132,088,942
合 計	185,383,226

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18

一般財団法人新潟県労働者信用基金協会

旅行企画・実施 新潟交通

新潟県労福協企画『友好の旅』

シンガポール

旅行出発日 2017年9月23日(土) 4日間

旅行代金 129,800円 2名様ツイン利用、おひとり様代金

日次	都市名	時間	旅行内容・食事・宿泊地
1	新潟 ソウル シンガポール	午後 夕刻 夜	新潟より大韓航空にてソウルへ。 ソウルにて乗継ぎ、シンガポールへ。 到着後、ホテルへ。 (シンガポール泊) 〇 〇 〇
2	シンガポール	終日	朝食後、夕食まで自由行動。オプションツアーなどでお楽しみ下さい。 夕食は中華料理を楽しみながら友好パーティーです。 (シンガポール泊) 〇 〇 〇
3	シンガポール	午前 午後 夜	朝食後、シンガポール市内観光 ●入場観光(世界遺産 シンガポール植物園(国立ラン園)に入場)、マリーナベイサンズ展望台と施設内自由散策、民芸品などショッピング ●下車観光(マリーナオン公園) 昼食は飲茶をお楽しみ下さい。観光後、ホテルにてご休憩(お部屋は18:00までご利用いただけます) スチームボート(タイ風しゃぶしゃぶ)の夕食後、空港へ。シンガポールより大韓航空にてソウルへ。 (機内泊) 〇 〇 〇
4	ソウル 新潟	朝 午前	ソウルにて乗継ぎ、新潟へ。 新潟空港到着後、解散。お疲れ様でした。 (機内泊) 〇 〇 〇

●食事条件:朝食2回、昼食1回、夕食2回(機内食除く) ●最少催行人員:25名 ●添乗員:新潟空港より同行いたします ●一人部屋利用追加代金:28,000円 ●利用航空会社:大韓航空(KE) エコノミークラス ●利用ホテル:ホテル チャンセラニー、アット・オーチャード ●こども代金(2~11歳) 124,800円、幼児代金(2歳未満) 26,000円 ※燃油不可運賃、現地空港税約11,500円(4月30日現在)が別途かかります(料金はレートなどの影響により変動します)



専用パンフレットを
ご用意しております

お申込み・お問合わせ
総合生協グループ

コープ・トラベルセンター
http://www.niigata-travel.coop

新潟県知事登録旅行業第2-321号
全国旅行業協会正会員
株式会社 コープサービス
総合旅行業務取扱管理者 高橋 孝

新潟営業所
〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6
☎025-245-4110



いろいろたいへん…

まとめてスッキリ!



カードローン



ショッピング
リボ



キャッシング



ろうきん

**おまとめ
ローン**

〈ろうきん〉
おまとめローンのメリット

毎月の返済額が少なくなる可能性があります。

利息を減らすことができる可能性があります。

返済の管理が簡単になります。

●ご融資金額は最高**300万円** ●最長**15年**返済
●保証料**0円**(ろうきん負担)



新潟ろうきん

 **0120-191-880** (平日9:00~17:00)

新潟ろうきん

検索



総合生協の宅配



毎日食べるものだから
新潟県産・国産にこだわります。

お電話から



0120-222-559

KuruCoコールセンター 月～金曜日9:00～19:00